

# 早口小学校森林教室

平成27年 9月24日

平成27年9月24日、大館市立早口小学校の5年生児童25名と引率の先生2名が当センターを訪れ、総合的な学習の時間「世界遺産『白神山地』から学ぼう!」をテーマに、森林教室を行いました。

午前中は藤里森林生態系保全センター研修棟において、当センター所長から歓迎のあいさつを行った後、所長よりスライドを使い白神山地世界遺産地域の指定の目的や保全管理、豊かな生態系などについて講義が行われました。また、自然再生指導官が事前に質問された「白神山地で一番長生きしている木の樹齢はどのくらいか」「白神山地を水源とする川はどのくらいか」などの質問に回答しました。

その後、長い粕毛林道を通り藤里駒ヶ岳の樺岱登山口に移動し楽しい昼食をした後、3班に分かれて葉っぱビンゴをしながら、ブナ平まで登山をしました。

途中、ブナ二次林の説明、ブナの大木などの樹木に触れたり、キハダの皮を噛んだりして白神山地の自然を体感しました。中にはカエルやトカゲを捕まえる児童もいました。

素波里園地で閉会式を行い児童数名から「いろんな樹木があるのがわかった」「また来てみたい」など感想発表がありました。



講義中の様子



葉っぱビンゴを行いました。



ウダイカンバの樹皮は、よく燃えるということを説明しました。



ブナ林の中で記念撮影